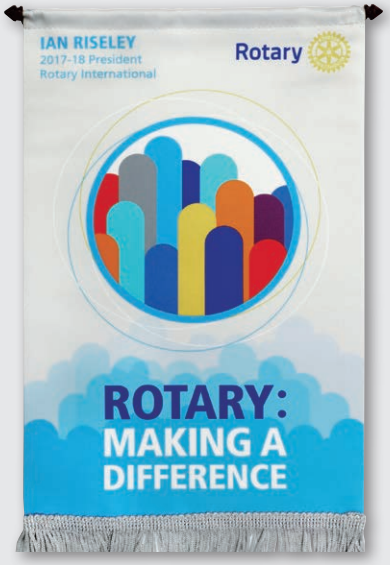

Rotary

ロータリー：変化をもたらす

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

2017-2018 Vol.8

国際ロータリー第 2550 地区 ガバナー月信 2月号 February

『冬の霧降高原』

Contents

■ロータリーの目的 …… 2
■ガバナーメッセージ …… 3
■平和と紛争予防/紛争解決月間に因んで …… 4
■地区委員会だより …… 5
■クラブだより・青少年交換学生報告 …… 6
■新会員紹介・文庫通信 …… 7
■ハイライトよねやまNo214号 …… 8
■ロータリーコーディネーターニュース …… 10
■会員数現況報告・地区内主要行事 …… 11
■物故会員・表紙説明 …… 12

Rotary

ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

The 4-WAY TEST

言動はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？

ex.顧客に対し、最良の品質・最良の技術を提供しているか？

2. みんなに公平か？

ex.従業員に対し、安全で快適な職場を提供しているか？

3. 好意と友情を深めるか？

ex.業界において公正かつ誠実であり、同業者とともに手を携え、職業倫理の高揚に努めているか？

4. みんなのためになるかどうか？

ex.納入業者に対し、公正で友好的な関係を築いているか？

言行はこれに照らしてから行うべし

ガバナーメッセージ

「平和と紛争予防／紛争解決月間」によせて

国際ロータリー第2550地区
2017-18年度　ガバナー
太　城　敏　之〔宇都宮東ＲＣ〕

最澄が説いた「忘己利他」と ロータリー「超我の精神」の共通点

2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。ロータリーの重点分野の一つに掲げられている大変重要な取り組みで、主に以下の支援を強調する月間とされています。

（1）紛争予防と仲裁に関する若者を対象とした研修の実施
（2）紛争地域における平和構築の支援
（3）平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事を目指す専門職業人のための奨学金の支援

有史以来、世界中で巻き起こる紛争の原因はさまざまですが、その根本には宗教が介在していると個人的には考えます。宗教によって人々は救われますが、その一方で宗教によって戦争が起こっているのも事実だからです。

全世界123万人の会員で構成されたロータリアンの一人として、私たちは何を考え、どう行動すればよいのでしょか?

個人的には天台宗の開祖・最澄（さいちょう）が説いた「忘己利他（もうこりた）」にヒントを得ました。「己を忘れて他を利するは、慈悲の究極なり」という意味で、自分を忘れて他人のために尽くすことの大切さを説いています。この精神はまさに、フランク・コリンズが唱えたロータリーの公式標語の一つ「超我の精神（Service Above Self）」に通ずるものがあるのではないでしょうか。

私たちロータリアンはこの特別月間を機に、改めて平和と紛争予防に向けた取り組みを認識するとともに、さらなる活動につなげていきたいと思います。

「ロータリー創立記念日」に際し、第2550地区のさらなる発展を願う

国際ロータリーは、毎年100名までを平和フェローとして選出し、世界各地の有名大学に設置されている「ロータリー平和センター」で修士号または専門修了証を取得するためのフェローシップ（奨学金）を提供しています。

わが国では国際基督教大学にロータリー平和センターが設置され、独自のカリキュラムを通して多様な見地から平和と紛争の理論を学び、実地研修を通じて実践的なスキルを身に付けています。

これらの詳細は『ロータリーの友』（2017.11月号）の37ページで触れられ、平和の推進者として選ばれた元学生の横顔が紹介されているので、改めてお目通しいただきたいと思います。

さて、２月はこの他に「ロータリー創立記念日」があります。1905年２月23日はロータリーの創始者ポール・ハリスが友人３人と最初に会合をもった日で、それから数えると今年で112年目になります。この２月23日を祝う創立記念日は「世界理解と平和の日」として順守されているのはみなさん方もご存じの通りです。

このロータリーの誕生日を心からお祝いし、国際理解や平和に関するロータリアンとしての自覚を改めつつ、第2550地区の活動がますます発展することを望みます。皆で一致団結し、邁進していきましょう。

平和と紛争予防／紛争解決 月間について

『平和と紛争予防／紛争解決』月間について

国際奉仕部門
カウンセラー
中　谷　研　一〔足利東〕

2014 年 10 月、RI 理事会は、重点項目である「平和と紛争予防／紛争解決」を2月特別月間と定めました。My Rotary によれば、この重点項目の目的と目標として次の3項目をあげています。

1. 紛争予防と仲裁に関する、リーダー (リーダーとして嘱望される若者を含む) の研修。
2. 紛争地域における平和構築の支援。
3. 平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

現在世界では、毎年、紛争と暴力で数百万人が家を失い、約 6500 万人が現在故郷を追われています。更に悲惨な事は、紛争で命を落とす人の 90%が罪なき一般人であり、その半数が子供であるという事実です。

この様な世界情勢の中で、ロータリーでは、異文化を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通して平和な世界づくりを推進しています。

そこで今回は「ロータリー平和センター（RPC）」についてお話をしたいと思います。

皆さんは RPC をご存知でしょうか。RPC の目的は、理論と実地研修を合わせた教育と、世界的ネットワークの活用を通し平和構築に必要な専門知識とスキルを養う機会を提供し、平和の担い手となる人材を育てる事です。この RPC で学ぶ学生を「ロータリー平和フェロー（RPF）」と呼び、毎年最高 100 名の RPF が選ばれ、平和と安全保障を修士課程プログラムで学ぶため平和フェローシップ（RPF：奨学金）が提供されます。RPC で養った知識とスキルは世界各地の地域社会で平和と紛争解決に向けた活動を実施する為の大きな力となっています。この RPF の対象者は、国際関係、平和、紛争解決の分野の職歴を有し、国際的または地域社会での人道的活動や平和活動に取り組む熱意のある人です。この RPF の候補者を探す過程で、世界各地のロータリアンが重要な役割を担っています。

現在 6 つの RPC は世界 6 カ国、7 大学に設置されています。各 RPC では独自のカリキュラムと実地研修が適用され、様々な方法で平和と紛争解決の研究が行われています。更に、5 つの RPC で修士号プログラム、また 1 つの RPC で専門能力開発修了証プログラムが実施されています。

(1)英国：ブラッドフォード大学
(2)米国：①デューク大学
　　②ノースカロライナ大学チャペルヒル校
(3)日本：国際基督教大学
(4)オーストラリア：クイーンズランド大学
(5)スウェーデン：ウプサラ大学
(6)タイ：チュラロン大学

RPF は、卒後、世界中の国で活動をしています。特に主な就職先である国連等国際機関 (6%)、政府機関 (15%)、非政府機関 (36%)、研究機関・大学 (8%)、教育部門 (8%) 等では、様々なレベルでリーダーシップを発揮し国際社会で大きな貢献をしています。彼らの学びの地である RPC をご支援下さい。RPC は、世界各地のロータリアン、地区、その他の支援者からの寄付によって支えられています。それぞれの役割は、

(1)地区：
地区活動資金 (DDF) の一部を RPF の支援に配分する事が推奨されています。毎年、少なくとも 25,000 ドルの DDF を RPC の支援に配分する地区は「平和推進地区」として認証されます。

(2)ロータリアン：
RPC の支援を目的として TRF に寄せられる大口寄付に加え、ロータリアンやロータリー支援者からの寄付により RPC の長期にわたる成功が確かなものとなります。

終わりに、RPF を支える RPC の活動を是非ご支援下さい。また RPC についてご質問等は地区委員会までご連絡下さい。

地区委員会だより（社会奉仕研究セミナー報告）

2部構成で社会奉仕の根幹を講演

地区社会奉仕委員長　瀬野　公男〔小山南〕

平成29年12月10日（日）「地区社会奉仕研究セミナー」を宇都宮グランドホテルにて開催いたしました。今年は趣向を変え、演題を「小山市の子どもの貧困・児童虐待防止の取り組みついて」と称して、小山市が行っている子どもに対しての取り組みを、2部構成で講演を頂きました。

第1部の講師は、小山市役所・子育て包括支援課長 大橋雅子様で、現在、市が行っている「小山市子どもの貧困撲滅5ヵ年計画」に位置づけられた6つの方針の講話を頂き、その方針を進めるには、家庭・学校・地域・行政の連携が最重要であることを認識して欲しいと話された後、児童虐待防止については、二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ込まれて亡くなる、痛ましい事件が小山市でありました。この事件をきっかけに、子ども虐待防止の象徴として、小山市が発祥の地である「オレンジリボン」を全国に広める市民運動を展開中です。

第2部は、小山市要支援児童生活応援事業「シリウス」について、認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ理事長 仲村久代様に、講話を頂きました。支援活動の状況について実際に現場で携わっている、子どもの貧困・虐待などの諸問題を、パワーポイント使用して、事例ごとに解説していただきましたが、いまどきこんな事があるのかと思うような事例が数限りなく出てきて、話を聞くほどエンドレス、終わりのない活動だと感じました。今回の講演内容は、ロータリーが奉仕活動としてどの様なかたちで係わって行けば良いのか、問題提起をされた様に思われます。各クラブで是非話し合って欲しいと思います。

また、太城ガバナーが謝辞の中で、ロータリーは4月が「母子の健康」月間なので、各クラブは、管轄内の行政機関に問合せて、この様な問題の卓話を実施するように、提案されました。

最後に、今回の講演の詳細については、地区のホームページに掲載してありますので、是非そちらを参照して下さい。

クラブだより

ポリオ撲滅基金に寄付

ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会
実行委員長　宮田　進〔足利わたらせ〕

世界ポリオデーの平成29年10月24日にロータリー公共イメージ向上及びポリオ撲滅の必要性の認知、募金活動を主目的に足利城ゴルフ倶楽部にてポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会を開催致しました。当日は、絶好のゴルフ日和の中、ロータリアン39名一般105名計144名が参加し、クラブ会員より協賛頂いた豪華賞品を目の前に、皆さん楽しくプレーされ、大変盛り上がりました。チャリティー募金も合計2０万円集まり、ロータリー財団のポリオ撲滅基金に寄付させて頂きました。

また、クラブ会員全員でお揃いのEND　POLIO NOW　Tシャツを着て、クラブハウス内各所及びコースにてポスターの掲示・パンフレットの配布・DVD映写等により、その啓蒙活動も積極的に行いました。あと一歩まできたポリオ撲滅について、参加した方々に一考して頂けたら幸いです。

それにしても、優勝～5位、当日賞、100位、BB賞と豪華賞品総取りのロータリアンの強運には脱帽でした。

青少年交換学生報告

多くの経験を得たフランス留学

私の人生は、このロータリー青少年交換プログラムを通して、180度変わったと言っても過言ではありません。

当時16歳だった私は、英語も愚かフランス語は全く話せないままフランスに飛び立ちました。あの時の不安は計り知れません。フランスに到着し、ホストに温かく迎えてもらった時に溢れた涙を、昨日のことのように覚えています。現地では募金活動やチャリティーコンサート出演などを積極的に行い、新聞に掲載されることもしばしあったため、地元ではちょっとした有名人でした。多感な年頃の私は、現地で触れてきた全てを吸収し、1年という短い期間で多くの経験をし、心身共に大きくなって帰国いたしました。

この交換留学を通して、心許せる友人が世界各国に数多くできましたし、第二の祖国「フランス」には、いつ行っても迎えてくれる家族がいます。

このような素晴らしい機会を与えてくださったロータリーの皆様に感謝致します。

2012-13年度　フランス派遣　増田　碧

新会員紹介

やぶした　ときえ
藪下時江
宇都宮陽東RC
(株) Yoshi つねグループ
代表取締役
平成29年9月1日入会

よろしくお願いいたします。

えだ　じゅんや
江田純也
鹿沼東RC
進栄工業株式会社
代表取締役
平成29年10月4日入会

宜しくお願い致します。

おぐち　ただし
小口忠史
宇都宮西RC
(株)らいとケア
代表取締役
平成29年10月19日入会

皆様ご指導のほど、よろしくおねがいします。

ひらい　まきお
平井　万紀雄
宇都宮西RC
(有)ビジネスシステム通信
専務取締役
平成29年10月19日入会

諸先輩の方々よりご指導いただきながら、精一杯頑張りたいと思います。

ほしの　みつひら
星野充平
宇都宮西RC
(有)三ツ星
代表取締役
平成29年10月19日入会

よろしくお願い致します。

あいこ　まさゆき
相子正幸
葛生RC
相子保全(株)
代表取締役社長
平成29年11月1日入会

地域での活動を通じて、自己研鑽をしながら、社会に奉仕できるよう励みます。

まちだ　ひろふみ
町田博文
栃木RC
SMBCフレンド証券（株）栃木支店
支店長
平成29年11月1日入会

若輩で至らぬ点も多々あると思いますが、宜しくお願いいたします。

きくち　かずひろ
菊地一浩
西那須野RC
那須信用組合
理事長
平成29年11月14日入会

地元に本店を置く金融機関として、お仲間に入れさせていただきます。

やまし　だいすけ
山下大介
宇都宮東RC
株式会社 ワイズ・マン
代表取締役
平成29年11月14日入会

よろしくお願い致します。

たかもり　かずまさ
髙森一政
今市RC
有限会社 高森建設
代表取締役
平成29年11月26日入会

ロータリー活動と通じ、奉仕の理念を学んでいきたいと思います。

たむら　あつし
田村篤史
宇都宮西RC
シーデーピージャパン株式会社
代表取締役
平成29年11月30日入会

皆様と活動、学びをご一緒できること光栄に思います。よろしくお願いします。

おざき　まさとし
尾﨑正利
足利RC
株式会社 ＴＬＣ
取締役
平成29年12月1日入会

良き縁は人と人を結ぶ事で人生の生き方を学ぶ幸せである事親しき仲に礼儀有り。

文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献･資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

［ 下記申込先：ロータリー文庫 ］

ロータリーの精神　文庫通信364号

国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう！ロータリーとは、奉仕とは、人生とは（講演及び会員との質疑応答）	田中作次	2017	11p	D.2570地区大会報告書
地球温暖化防止の切り札は？	牛山　泉	2017	17p	D.2550地区大会の記念誌
世界を照らすLED	天野　浩	2017	9p	第45回ロータリー研究会報告書
四国で一羽の蝶々がはばたくと、世界でハリケーンが生じる～情熱と意志を持って	北川正恭	2017	10p	D.2670地区大会記録
安全保障と危機管理	越野修三	2017	10p	D.2830RYLA報告書
日露首脳会談と政局の行方	岸井成格	2017	19p	D.2660地区大会報告書
母子の健康	対馬ルリ子	2017	6p	D.2830地区大会記録誌
福井県の恐竜時代	東　洋一	2017	4p	D.2650地区大会記念誌
山形大学のナスカの地上絵研究	山形大学研究チーム	2014	5p	D.2800地区大会講演集

ロータリー文庫
〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL03-3433-6456・FAX03-3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時～午後5時　　休館=土・日・祝祭日

2017-18年度は
財団設立50周年

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2018.1.15

Vol.214

第３代よねやま親善大使を募集します！

「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・セミナー・例会などで、米山学友の代表としてスピーチすることにより、当事業への理解を広める活動をしています。これまでに、初代２人、第２代３人の計５人が選任され、このたび、“第３代”よねやま親善大使を大募集します。対象となるのは、日本国内在住の米山学友（2018 年６月終了者含む）で、任期は 2018 年７月からの２年間。応募締切は、２月 19 日（当会必着）です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」欄からご覧ください。皆さまの地区・クラブでお世話いただいた学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください！（学友ご本人からの応募が必要です）

2018-19 年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12 月７日、次年度の地区米山記念奨学委員長を対象とした第１回セミナーを開催しました。

午前は、小沢一彦理事長からのあいさつに続いて、第 2720 地区前委員長の秋吉 実氏による講義「委員長を経験して気付いた米山事業の魅力と可能性」と、第 2800 地区委員長の大久保章宏氏による事例報告「理解促進から寄付増進へつなげる」、続いて午後は、テーマ別のグループディスカッションや質疑応答、選考・学務委員の井原實氏からの講評など、盛りだくさんの内容で行われました。アンケートでは、「初参加だったが学ぶことが多かった」「地区では聞けない米山活動について多くの課題解決のヒントが得られた」などの声をいただきました。第２回セミナーは、６月 15 日に開催予定です。

寄付金速報　―今年もよろしくお願いいたします ―

12 月までの寄付金は前年同期と比べて 5.7%増（普通寄付金：0.9%増、特別寄付金：7.6%増）約 4,900 万円の増加となりました。７月からの累計寄付額が約９億円と、引き続き好調を維持しています。

「2017 年度 下期普通寄付金のお願い」を当会から、また、ガバナー事務所経由で全クラブへ配信しました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

さまざまな寄付のカタチ

高崎北ＲＣの 故藤井秀久様（第 24 回米山功労者メジャードナー）の奥様から、12 月に 500 万円のご寄付をいただきました。藤井様の娘婿にあたる樋口哲雄様（高崎北ＲＣ）にお話を伺いました。

義父は、家族、会社の次にロータリーが来るほど、熱心なロータリアンでした。生前、米山への寄付にも熱心だった背景には、家が貧しく高校に進学できなかったため、「向学心に燃える若者を支援したい」との強い思いがあったようです。その遺志を汲み、義母は「教育に関わる団体に遺産を寄付したい」と、このたび財団と米山に同額を寄付しました。入会歴の浅い私も、義父の遺してくれたロータリーとの縁を大事にしていきたいと思います。

台湾米山学友会が総会を開催

12月2日、台湾米山学友会の総会が開催され、日本からロータリアンら41人を含む、計150人が集まりました。今年は同学友会の社団法人設立20周年の節目を迎え、当会小沢理事長を含む役員も多く参加しました。

総会では、歴代理事長、および当会役員への感謝状贈呈や新会員の歓迎セレモニーのほか、陶芸家として活躍する学友・張義明（ツァンイーミン）さんの作品のチャリティオークション、各種演奏が披露され、学友会が支援する日本人奨学生も流ちょうな中国語で日頃の感謝を述べました。

同学友会では呉憲璋（ウーシェンツァン）会長のもと、さまざまな改革が行われており、毎年発行している会報にはより多くの学友が編集に関わったほか、扶輪米山会のシンボルマークが一新され、マークをかたどったピンバッジが全員に配られました。総会の記念品、ミニチュア自転車の置物は、同学友会が支援する台湾彰化刑務所で作られたもの。呉理事長は「時代を物語るレトロな自転車が当時から現在へ辿り着き、ロータリーを象徴する歯車からの原動力を受け取った私たちが、これから将来へ向けて駆動していきたいとの思いを込めました」と、語りました。

秋の叙勲で学友が旭日小綬章に輝く

平成29年秋の叙勲受章者が発表され、外国人叙勲としてなんと2人の学友が旭日小綬章に輝き、12月にそれぞれ日本の在外公館において勲章・勲記の伝達式が行われました。

朴明欽（パクミョンフム）さん（韓国／1983-85／京都東山RC）、元・釜山韓日文化交流協会理事長。日本・大韓民国間の友好親善及び相互理解促進に寄与。

“同志社大学の修士課程で学び、さらに博士課程まで進むことができたのは米山記念奨学会のお蔭だと存じております。韓国では大学教育や学問研究を中心にしながらも、日韓両国の相互理解と友好親善を図るため両国交流団体にて社会活動を続けています。日本での留学の際、貴奨学金を頂いたこと重ねて御礼申し上げます”

ジャンチブ・ガルバドラッハさん（モンゴル／1998-99／山形北RC）、新モンゴル学園理事長。モンゴルにおける日本式教育普及及び日本・モンゴル間の相互理解促進に寄与。

“私は、皆様方への感謝を胸に恩返しをしたい一心で努めてきただけですので、この章は皆様方のものです。この勲章を受章したことで新たな活力がわいてきました。これからもみなさまへのご恩を倍々返しできるように力の限り努力していきます。どうか温かく見守ってください”

ご寄付の確定申告用領収書について

昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

Rotary
Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2018年2月号
発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第３ゾーン担当

■1月14日からアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで国際協議会が開催されました。

世界全地区から539地区、日本の34地区のガバナーエレクトとパートナーが一堂に会し、来るべき新しい年度に向けて研修を重ねました。バリー・ラシン国際ロータリー会長エレクトから発信された力強いテーマをしっかりと胸に受け止め、新たなロータリーの世界に思いを馳せておられることでしょう。

私たちロータリアンは、会員基盤を強化し、柔軟なクラブ運営をすることにより、より多くの理解者を増やす必要があります。ロータリーの素晴らしい理念を一人でも多くの人々と共有し、私たちが目指す究極の世界平和を手にしなければならないからです。また、理念を求めると同時に行動もしなければなりません。皆様方お一人おひとりがロータリーの伝道者であります。ロータリーが活性化する、そのことのために更なる歩みを進めて頂きたいと思います。

国際ロータリー　理事エレクト　三木　明

■柔軟性は会員増強の救世主になりうるか？

ご存知COL16においてクラブ運営に関する 諸規定が従来のそれらと劇的に変革を遂げた事は記憶に新しい。それもこれも世界的に見て停頓気味の会員増強を強力に押し進めるため、又、ロータリー活性化の基盤である魅力的・効果的クラブ作りのために柔軟性導入はRIがまとめた最善の 手段であろう。

①:柔軟性導入後の 影響

昨秋本邦全クラブに実施したアンケートの結果、柔軟性導入したクラブは全体の 23%, 導入予定18%, 従来の運営踏襲が半数を越え53%, 導入しないが6%という数字が出た。しかし、某クラブのように例会回数を月2回に減らしてみたが、ヤッパリ毎週例会が良いということで早くも元に戻したケースもあると聞く。一方、世界ではRIが2016/7/1、即ちクラブに柔軟性導入推奨開始時点の 会員数は1年経過の昨年同時期と比較したら約5千人減の120万人強であった。これから推察すれば柔軟性導入は現時点で世界も日本も会員増加に貢献しているとは言えない。

②: 過去の増強について

日本での新会員は一般的に以下の手続き「探し出す、紹介する、入会を勧める、入会させる、導き・情報を伝達する、参加させる、研修する」を経て入会し、理念を伴った優秀なロータリアンに成長してきた。増強とは文字通り「会員を増やし、クラブを強くする」事だ。初めから柔軟性と言う概念はクラブにも新入会員にもなかったのは事実であろう。

③: 今後の増強について

増強は組織維持のため永遠の課題である。基本的にロータリーは他の奉仕団体と違うことを強調し、合わせて日本独自の慣習・考え方に則り進めるのがベスト。しかし、いつまでも過去の理論に固執し、世界の流れ、時代の流れ、社会環境の変化への対応が遅れないようにすべきだ。RIは柔軟性と言う画期的な概念を提案し、導入を推奨し、変革を促しているように我々もこれを日本流に改変し、応用し、増強に活用する時期が来たようだ。とは言っても増強への王道はクラブ会長と会員が一丸となって汗を流す事に尽きると思う。

第3ゾーン　ロータリーコーディネーター補佐　伊藤文利(D2690,倉吉RC)

■各地域社会でのロータリー広報・公共イメージ活動

ロータリーの公共イメージの向上を図るために、ロータリーにはロータリアンやその活動の恩恵を受ける地域社会の人々との間に心温まる感動や感謝のストーリーが沢山あります。それをよりシンプルに、一貫性のある形で伝えていくことが大切です。そして、ロータリーの活動の成功例をマスメディアや地方自治体などに紹介できるよう、ロータリー公共イメージ向上に向け、地域に適したアプローチを促進することです。

ロータリーの公共イメージ向上に必要なことは何でしょうか。

ロータリーとは何か。ほかの団体とどう違うのか。なぜロータリーが必要なのかなど、ロータリーを人々に伝える方法を考え直す必要が生じています。

今、私たちがなすべきことは何でしょうか。

すべてのロータリアンがロータリーの一員として自覚と誇りを持って行動を起こすことだと思います。四つのテストに照らしてみましょう。

コミュニケーションをする際にロータリアン各自がロータリーの理念を守り、活動を推進して、ロータリーの目的を効果的に伝えることが重要です。

例えば、2730地区の私が所属している鹿児島西RCでは1965年からクラブ独自に定めた表彰制度で社会の目立たないところで誠実に継続的に意義のある社会奉仕活動を続けている個人あるいは団体を顕彰するためのロータリー賞を創設し、毎年のクラブ創立記念日例会で表彰を行いその活動を紹介しています。マスコミも表彰式には毎年取材をしてロータリー賞について報道します。

少子高齢社会の現在、地域には自治体やNPO法人などと共同で行うことができて地域が必要としているプロジェクトが沢山あります。既にそれぞれのクラブが独自の奉仕活動を展開していますが各クラブの活動がロータリーの活動として認識してもらうためには、ロータリーの理念とRI戦略計画をよく理解し、統一されたロータリーのイメージで情報を発信することが各地域社会でのロータリー広報・公共イメージ活動が効果的なものになると思います。

第3ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　山下皓三(D2730,鹿児島西RC)

会員数現況報告（12月分）

分区	クラブ名	会員数 7月1日	12月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第1グループ	大田原	25	26	0	0	1	0	1	0	1
	黒磯	37	38	0	0	1	0	1	2	2
	西那須野	42	45	0	0	3	0	3	0	3
	黒羽	9	10	0	0	1	0	1	1	0
	那須	9	10	0	0	1	0	1	0	2
	塩原	8	8	0	0	0	0	0	0	3
	大田原中央	22	23	0	0	1	0	1	1	1
第2グループ	烏山	15	16	0	0	1	0	1	0	2
	氏家	23	25	0	0	3	1	2	0	2
	矢板	14	13	0	2	1	2	-1	0	2
	馬頭小川	22	23	0	0	1	0	1	0	0
	高根沢	15	15	0	0	0	0	0	0	0
第3Aグループ	宇都宮	104	105	1	0	5	4	1	1	1
	宇都宮西	78	82	0	0	4	0	4	3	0
	宇都宮北	48	49	0	0	1	0	1	1	0
	宇都宮90	45	44	1	1	1	2	-1	1	3
	（宇都宮90結：衛星）	8	12	0	0	4	0	4	2	5
	宇都宮陽北	31	33	0	0	2	0	2	2	3
第3Bグループ	宇都宮東	116	121	0	0	8	3	5	2	0
	宇都宮南	52	53	0	0	3	2	1	1	3
	宇都宮陽東	48	51	0	0	3	0	3	2	8
	宇都宮陽南	20	24	1	0	4	0	4	2	7
	宇都宮さつき	23	25	0	1	3	1	2	2	3
第4グループ	真岡	52	58	1	0	6	0	6	2	0
	益子	34	35	0	0	2	1	1	0	3
	真岡西	36	37	0	0	1	0	1	2	5
	しもつけ	30	32	0	0	3	1	2	2	7

分区	クラブ名	会員数 7月1日	12月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第5グループ	小山	28	28	0	0	2	2	0	0	1
	小山南	20	19	0	1	0	1	-1	0	3
	小山東	24	25	0	0	1	0	1	0	0
	小山北	20	19	0	0	0	1	-1	2	0
	小山中央	28	27	0	0	0	1	-1	0	2
第6グループ	栃木	45	47	0	0	3	1	2	0	2
	栃木西	26	29	0	0	3	0	3	0	1
	壬生	21	21	0	1	1	1	0	0	3
	栃木南	34	36	0	0	2	0	2	0	9
第7グループ	日光	22	23	0	0	1	0	1	0	6
	鹿沼	55	56	0	0	1	0	1	3	1
	今市	39	42	0	0	3	0	3	0	0
	鹿沼東	34	34	0	1	1	1	0	2	2
	鹿沼あわの	7	6	0	3	2	3	-1	1	2
	鹿沼中央	21	21	0	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	26	27	0	0	1	0	1	0	0
第8グループ	足利	33	35	1	1	3	1	2	2	0
	足利東	51	49	0	2	0	2	-2	1	7
	足利西	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	30	31	0	0	1	0	1	0	0
第9グループ	佐野	60	60	0	1	2	2	0	0	0
	葛生	35	38	0	0	3	0	3	0	0
	田沼	43	43	0	0	0	0	0	2	0
	佐野東	21	22	0	0	1	0	1	0	2
	岩舟	10	11	0	0	1	0	1	0	0
	51RC（衛星クラブ1）	1710	1773	5	14	96	33	63	42	108

地区内主要行事

2017-18年度　地区内主要行事

2018年

2月	4	日	第3回諮問委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	4	日	第2回地区運営委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	4	日	2018-19　第4回ガバナー補佐研修会	ガバナー事務所	
	4	日	第１グループ　IM	いとう家	
	4～8	日～木	国際ロータリー第3470地区インターアクト訪日	栃木県・東京都等	地区インターアクト委員会
	11	日	2018-19　財団補助金管理セミナー並びに研究会	宇都宮グランドホテル	地区ロータリー財団委員会
	12	月	米山終了生修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
	14	水	女性ロータリアン会員増強バレンタインコンサート	ﾄﾖﾀｳｯﾄﾞﾕｰﾎｰﾑｽﾏｲﾙﾌﾟﾗｻﾞ	地区会員組織委員会
	14	水	宇都宮陽東ロータリークラブ25周年記念講演討論会	宇都宮グランドホテル	宇都宮陽東RC
	17	土	2018-19　地区チーム研修セミナー	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	17	土	意義ある業績賞選考委員会	ガバナー事務所	
	17	土	2018-19　第５回ガバナー補佐研修会	ガバナー事務所	
	17	土	第5グループ　IM	小山グランドホテル	
	18	日	宇商マーキュリーIAC認証伝達式	栃木県立宇都宮商業高等学校	提唱クラブ：宇都宮東RC
	18	日	青少年交換オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
	24	土	第3グループAB　IM	宇都宮グランドホテル	
	24	土	第9グループ　IM	サンルート佐野	
	25	日	高根沢ロータリークラブ30周年記念式典	元気あっぷむら	高根沢RC
	25	日	第6グループIM	栃木サンプラザ	
3月	11	日	2018-19会長エレクト研修セミナー　PETS	宇都宮グランドホテル	ホスト：宇都宮西RC
	11	日	2018-19　第6回ガバナー補佐研修会	ガバナー事務所	
	17	土	第8グループ　IM	蓮岱館	
	25	日	第4グループ　IM		
	27～30	火～金	インターアクトクラブ海外研修	台湾	地区インターアクト委員会
4月	8	日	2018-19地区研修・協議会	宇都宮短期大学	ホスト：宇都宮西RC
	14	土	宇都宮陽東ロータリークラブ25周年記念式典	宇都宮グランドホテル	宇都宮陽東RC
	15	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
6月			第16回高校生RYLAセミナー		地区RYLA委員会
	17	日	米山2018年度第1回地区委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

物故会員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

物故 平成29年12月14日
享年　83歳

長谷川（はせがわ）　浩一（こういち）

【足利ＲＣ】

◆生年月日　昭和９年４月20日
◆入会年月日 昭和50年１月18日

◆ロータリー歴42年

地区役員	2010-2011年度	地区ガバナー補佐
	2015-2017年度	地区野球大会副会長
クラブ	1979-1980年度	幹事
	1998-1999年度	会長
	2007-2008年度	R財団・米山奨学会委員長
	2012-2016年度	会員選考・増強・職業分類、職業奉仕、史料、ロータリー情報等各委員長歴任

◆財団、米山奨学会などの寄付歴
2000-2001年
マルチプル・ポールハリス・フェロー

表紙写真説明

第6回「宇東写楽」写真展出品作品

『冬の霧降高原』

撮影：伴 清（宇都宮東）

平成29年3月、那須岳で発生したスキー場の雪崩事故。大勢の高校生の命を奪った大雪、その雪が霧降高原にも降り積もりました。それから数日後の霧降の木々は、冷たく静かに悲しみに沈んでいました。

Rotary

国際ロータリー第2550地区　ガバナー事務所

〒320-0826　宇都宮市西原町142
宇都宮グランドホテル内
TEL.028-651-2550　FAX.028-651-2551
Email　m2550@agate.plala.or.jp　　URL　http://www.rid2550.com/